

ビジネスリーダーに聞く

マルアイ (市川三郷) 村松道哉社長



むらまつ・みちや氏 福島県出身。武蔵大卒。東京都内のスポーツアパレルメーカーに勤務した後、1987年にマルアイに入社。商品企画や営業部長などを経て2009年に社長に就任。66歳。

愛読書 「1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書」

趣味 観劇、映画鑑賞

影響を受けた人 これまでに会った経営者の方々。年齢を問わず、考え方などで参考になることが多い

感動と驚きの紙製品追求

マルアイ (市川三郷) 村松道哉社長

は。マルアイ (市川三郷市川大門) は封筒や祝儀袋などの紙製品に加え、食品と電子部品の包装材料の製造を手がける。創業137年を迎えたが、新事業の企画や質上げに精力的に取り組んでいる。

「田安や不安定な国際情勢など、背景に原材料や燃料の価格高騰が続いているが、本年度は価格高騰が進み、利益が改善された。業界全体に言えることだ。」

「だが、新型コロナウイルス禍で結婚葬祭の小規模化が進み、祝儀袋の需要に影響を及ぼしている。国内需要の先細りに直結している。価格を上げたとし、値の購入してもらえない付加価値のある商品を作っていくことが重要で、新事業も考えていかなくてはならない。アイデアを二スに結びつけるために企画力の足腰を強くすることが当面の課題だ。デジタルトランスフォーメーション (DX) 導入による生産性の向上も図っている。」

「数年―数年後に大学入学生、成人がさまざまな節目を迎える子どもや自分に宛てた手紙や「数年―数年後に大学入学生、成人がさまざまな節目を迎える子どもや自分に宛てた手紙や」

「経営者としての心構えは。世の中が大きく変化して複雑化し、今までと同じやり方は立ちゆかなくなるという危機感を常に持っている。変化する時代に対応し、会社を支えているのは『人』だ。人を育てることが会社の成長には欠かせない。」

「聞き手・山本就巳」

〓 次回は12日に掲載します